

取扱説明書
ジャッキ エア 油圧式 30ton
品番：#4450200000 型式：S302ML

1. 使用方法

● 使用前の準備

- ①コンプレッサーの圧力を **981 kPa (10 kg/cm²)** に設定してください。
- ②本機のM01スイッチのカプラプラグとコンプレッサー側のカプラソケットを接続してください。尚、本機とコンプレッサーの間に『エアフィルター・レギュレーター(別売)』を取り付けてください。
- ③3本のM12ハンドルの穴とピンの位置を合わせて挿入し、全て接続してください。M11ハンドルグリップ部が上部、切り欠き部が下部になります。
- ④週1回は、M01スイッチのカプラプラグより潤滑油 (ISOVG32) を3~5cc注油してください。M08ポンプアッセンの故障を防止します。潤滑油を多量に注入すると故障の原因になるので、注入量を遵守してください。
- ⑤必要に応じてME78アダプターをME16トップカバーに挿入してください。

● 車両を上げる時

- ①M12ハンドル下部の切り欠き部を、M05タンクの穴のシャフトに差し込み、止まるまで回してください。上側の穴は本機の移動用、下側の穴は車の下に本機を挿入するのに使用してください。
- ②ハンドルを持ち、車両メーカーが指定しているジャッキポイントの中心まで、ME16トップカバー (ME78アダプター) を移動させてください。
- ③M01スイッチの上昇スイッチを押すと、ME17ピストンが上昇し、離すと停止します。車両を少し上昇させて安定している事を確認して、必要な高さまで上昇させてください。

● 車両を下げる時

- ①車両下部、周囲に何も無い事を確認してください。
- ②M01スイッチの下降スイッチを押すと、ME17ピストンが下降します。周囲を確認しながら車両を下降させてください。

● トラブルシューティング

故障原因	原因	処理方法
ポンプが作動しない	エア配管の破損、ポンプ不良	修理が必要です。当社まで御連絡ください。
ポンプは作動するが上昇しない	ポンプ不良	修理が必要です。当社まで御連絡ください。
	エアの混入	エア抜きをしてください (下記参照)。
ピストンの上昇が途中で止まる	オイルの不足	オイルを適正量まで充填してください。
荷重が掛かると途中で止まる	コンプレッサーの圧力不足	圧力調整をしてください。

● エア抜き方法

- ①無負荷の状態で最高位まで上昇させ、その後、最低位まで下降させてください。この作業を3回程度繰り返してください。

● 給油方法

- ①ME17ピストンを最低位まで下げてください。
- ②A09スクリューナットを反時計回転方向に回して、取り外してください。
- ③オイルを全量抜き取ってください。
- ④本機を水平な地面に立てた状態で、新しいオイルを0.8リットル充填してください。オイルは一般油圧作動油 (ISOVG32) を使用してください。
- ⑤古いオイルを新しいオイルと混ぜて使用しないでください。
- ⑥オイル充填完了後、A09スクリューナットを時計回転方向に回して取り付け、エア抜きを行い、最後に少し荷重を掛けて、作動確認をしてください。

2. 注意事項

△危険 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負うことになるもの。)

- ①ジャッキアップした状態で、車両の下で絶対に作業しないでください。重大事故に繋がります。
- ②ジャッキアップしたまま保持する場合は、安定性の良い、適切な保持台（ジャッキスタンド）を使用してください。

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

- ①傾斜面や軟弱地では使用しないでください。ジャッキが傾き落下する恐れがあります。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①使用前に、必ずジャッキに異常が無い事を確認してください。破損している場合や、調子が悪い時は、使用しないでください。
- ②本機の分解、修理、改造は絶対にしないでください。本来の能力を発揮できず、重大事故に繋がる恐れがあります。
- ③本機の許容荷重は1段目30トン 2段目15トンです。それ以上の荷重を掛けると、故障の原因になります。
- ④ME 16 トップカバーの中央に垂直に荷重が掛かるようにセットしてください。傾いた荷重を掛けると、落下する恐れがあります。
- ⑤必要以上に高くジャッキアップしないでください。
- ⑥ジャッキを下げる時は、必ず下に何も無い事を確認し、周囲の安全を確かめてから作業してください。
- ⑦オイルを給油する時は、必ず指定のオイルを使用してください。ブレーキオイルや植物油等は絶対に給油しないでください。
- ⑧ME 16 トップカバーにオイルが付着していたり、油分、汚れがある場合は必ず拭き取ってから使用してください。落下の原因になります。
- ⑨ジャッキを下げる時は、数回に分けてM0 1スイッチの下降ボタンを押し、各部に異常が無い事を確認しながら行なってください。
- ⑩ジャッキアップしたまま、持ち場を離れないでください。
- ⑪オイルを給油する時は、ゴミや異物が入らないように注意してください。
- ⑫本機を使用して上げている車に、力を掛けないでください。ME 16 トップカバーから滑って、落下する恐れがあります。
- ⑬本機使用後、及び保管する時は、ME 17ピストンを最低位まで下げるください。ME 17ピストンに傷が付くとオイル漏れの原因になります。
- ⑭使用中は、絶対に本機とコンプレッサーの接続を外さないでください。
- ⑮本機を保管、運搬する際は、絶対に天地を逆にしないでください。故障の原因になります。



